

令和元年度 水稻害虫トラップ情報（9月下旬；最終）

1 アカヒゲホソミドリカスミカメ

(1) 畦畔に設置した性フェロモントラップでは、8月の誘殺最盛期の誘殺数は青森、木造と八戸は平年より多かった。その他の地点は概ね平年並の誘殺推移となった。第3世代と考えられる誘殺が9月に各地点で見られた。

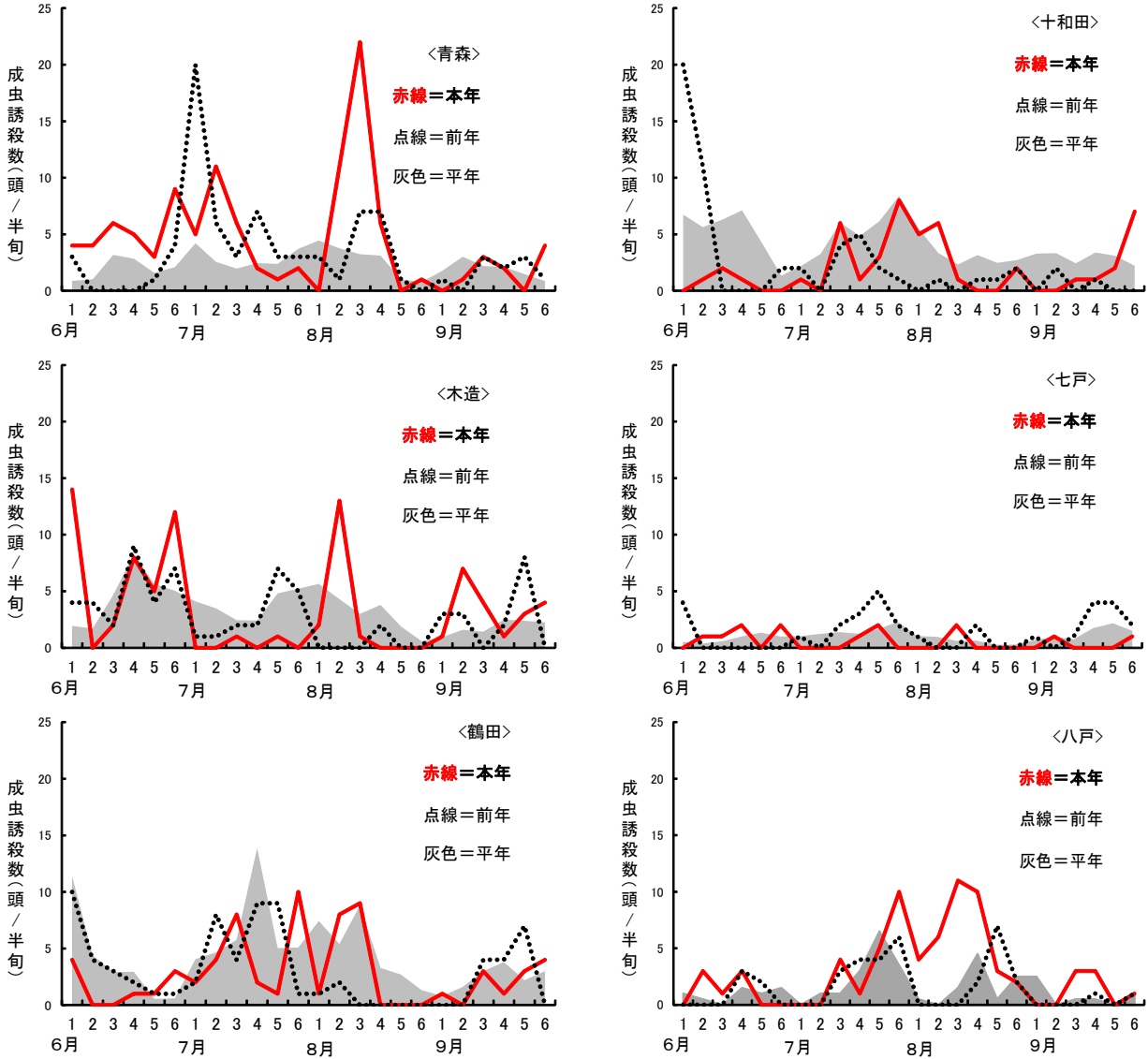


図1 性フェロモントラップによるアカヒゲホソミドリカスミカメの半旬別誘殺数

平年値は、青森9年、木造7年、鶴田5年、十和田10年、七戸10年、八戸3年の平均値

(2) 予察灯では、木造で7月後半にまとまった誘殺があったが、8月以降の誘殺数は、いずれの地点も平年並に推移した。

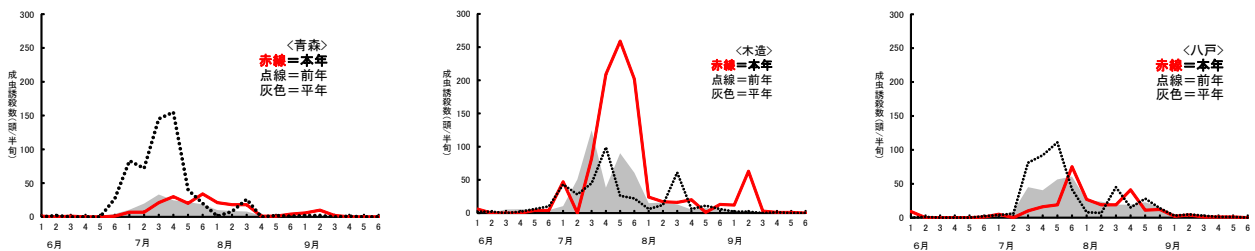


図2 予察灯によるアカヒゲホソミドリカスミカメの半旬別誘殺数

2 アカスジカスミカメ

(1) 畦畔に設置した性フェロモントラップでは、青森で6月の誘殺数が前年より多かった。7～8月の誘殺は全体的に少なかったが、木造では8月以降ほぼ連続的に誘殺された。第2世代の誘殺が認められ、9月の誘殺数は前年より多かった。

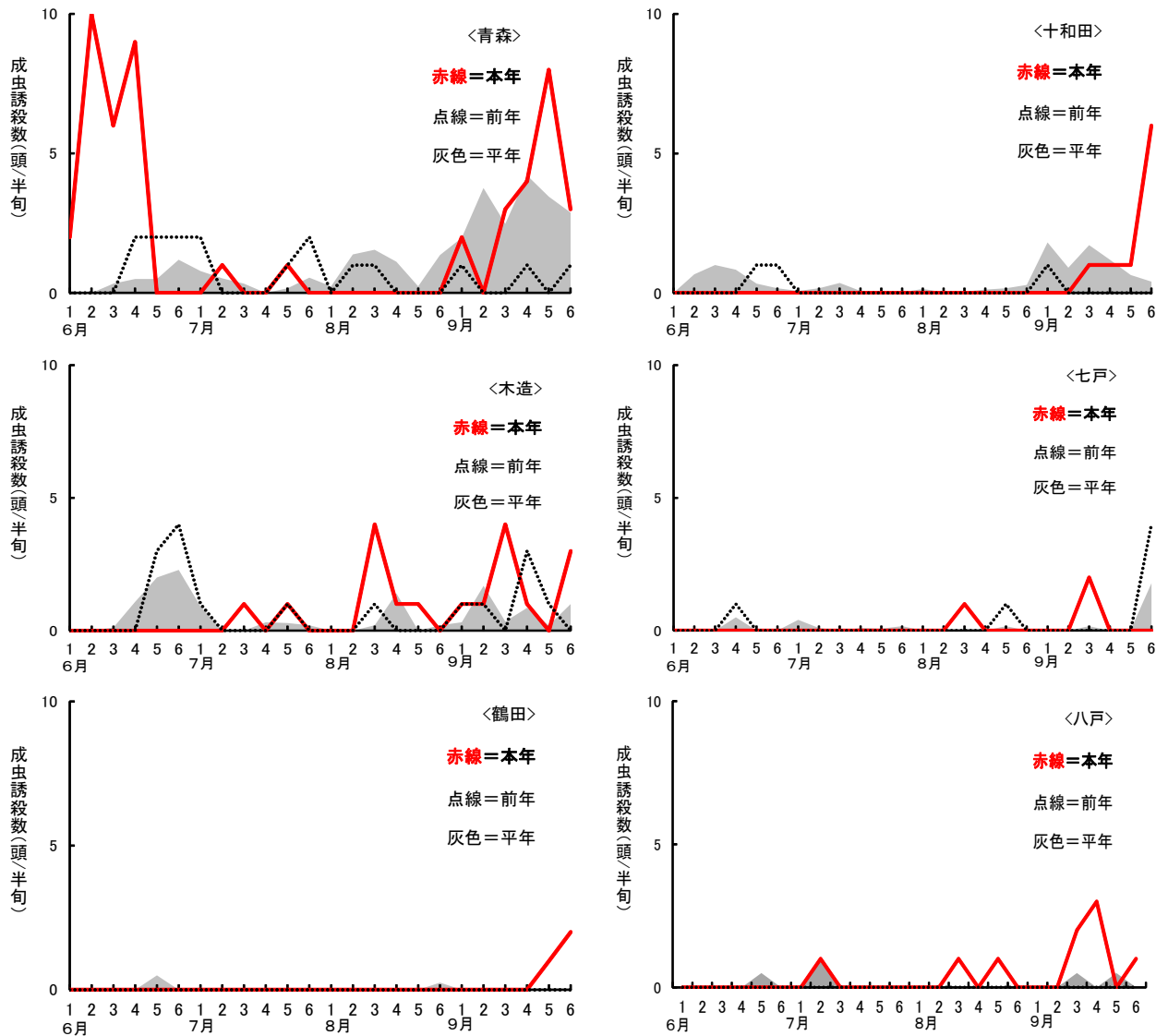


図3 性フェロモントラップによるアカスジカスミカメの半旬別誘殺数

平年値は、青森6年、木造5年、鶴田4年、十和田6年、七戸6年、八戸3年の平均

(2) 予察灯における、第1世代と考えられる誘殺の盛期は、青森、木造では7月中下旬とほぼ平年並で、誘殺数は前年よりやや多かった。八戸では8月以降の数は平年並に推移したが、青森では9月にまとまった誘殺を認めた。

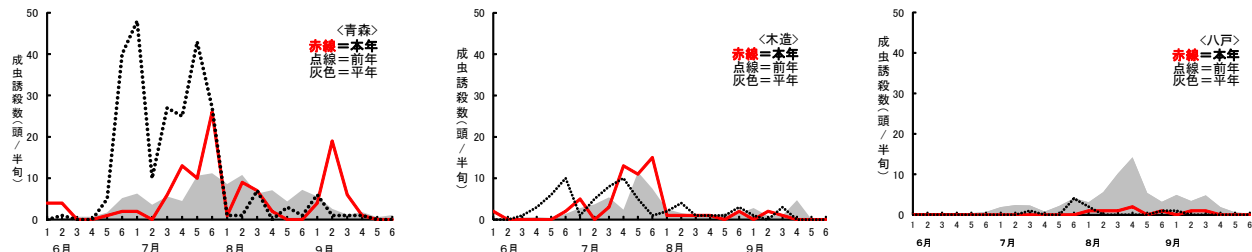
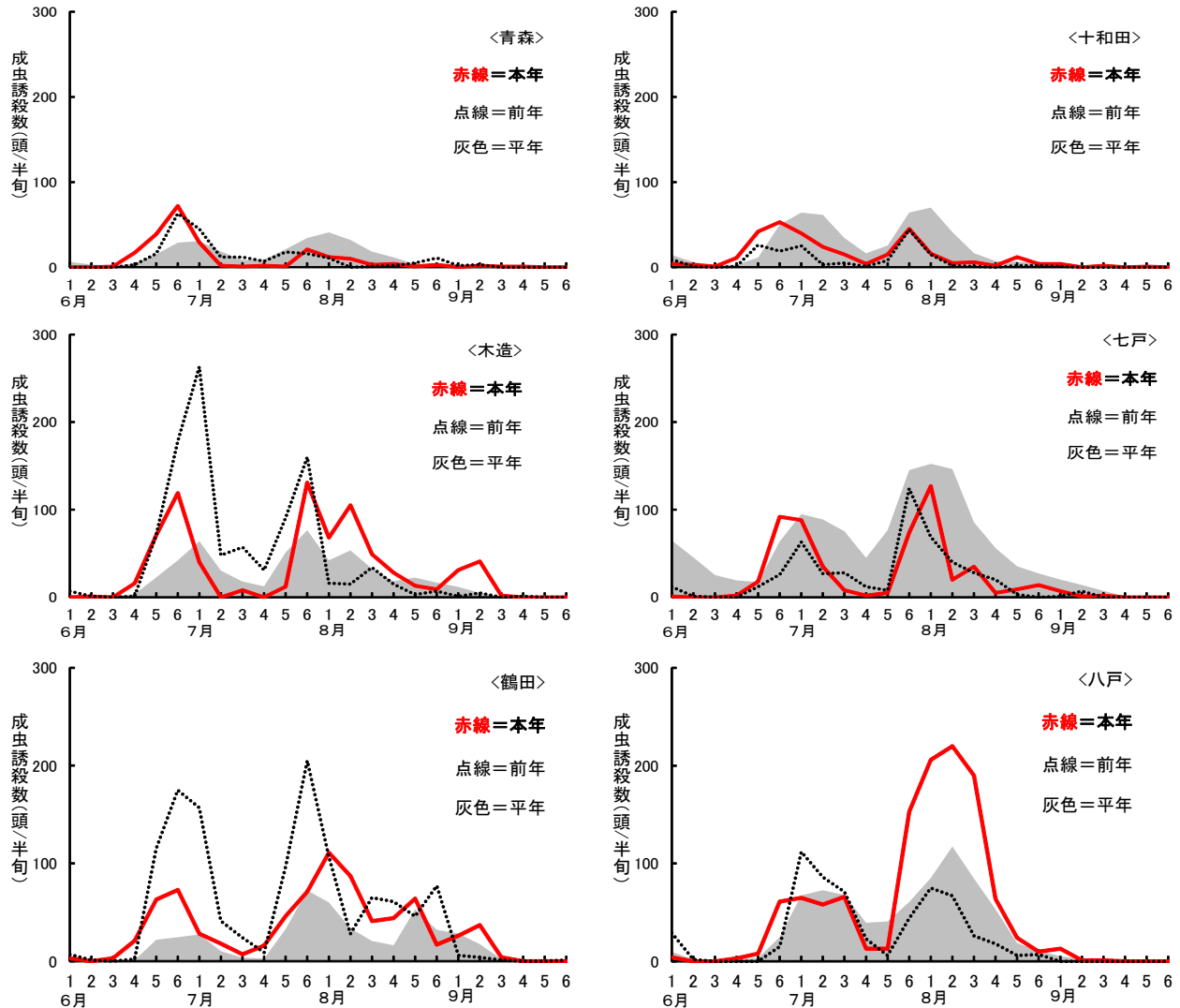


図4 予察灯によるアカスジカスミカメの半旬別誘殺数

3 フタオビコヤガ

(1) 性フェロモントラップによる第1世代の誘殺盛期は、全地点で平年よりやや早く、津軽地域の誘殺数は平年より多かった。第2世代の誘殺盛期は津軽地域でやや遅く、県南地域は平年並であった。誘殺数は青森、十和田、七戸は平年より少なく、木造、鶴田、八戸は平年より多く、特に八戸の誘殺数が多かった。

図5 性フェロモントラップによるフタオビコヤガの半旬別誘殺数



(2) 予察灯での第2世代の誘殺は、性フェロモントラップと同様に7月下旬～8月上旬にみられ、誘殺数は青森は平年並、木造と八戸は平年より多かった。

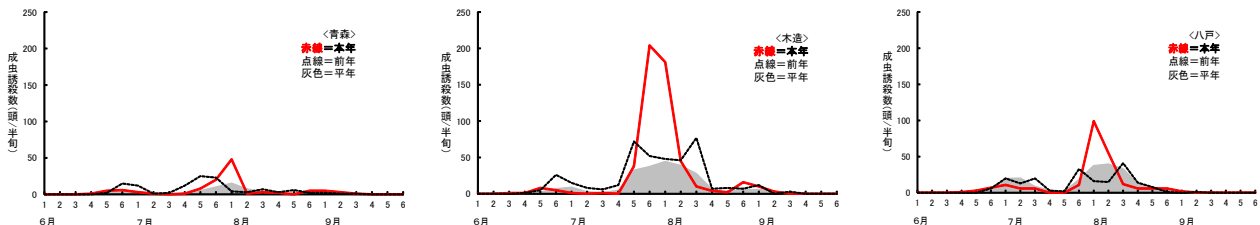


図6 予察灯によるフタオビコヤガの半旬別誘殺数

《当情報に関する問い合わせ先》

青森県病害虫防除所 〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6

TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900 担当：総括主幹 市田忠夫